

## 2019年度（令和元年度）事業報告

2019年度は、2020年3月17日の70周年リニューアルオープンを目指し、2019年9月1日から館を休館しリニューアル工事に入りました。2020年3月16日にリニューアルが完成し、内覧会のみを執り行いました。しかし残念ながら新型コロナウイルスの影響で、翌日より予定していたリニューアルオープンは開けず先送りとなり、年度中の開館には至りませんでした。結果、入館者数は上半期の8月末までの数となり、総数16,878名となりました。上期前半は4月の桜満開時の期間も長く、さらに新1万円札の肖像に渋沢栄一翁が決まり多くの方が飛鳥山を訪れる結果となり、対前年8月末までは+1,779名（+11.8%）となりました。今年度の新入社員教育は39社、484名で対前年△14名でした。

設備・投資面では、70周年リニューアル工事の最終年に当たり、常設展示や館内設備の本格的な改造の費用となりました。

今年度の主要な事業活動は次の通りです。

### I. 紙に関する資料の収集、保存、調査研究展示

#### 1. 今年度開催した企画展

(1) 白石の和紙～名産紙布・紙衣を中心に～ 3/16～6/9

#### 2. 一般公衆への説明・助言・指導と図書利用

紙に関する知識な豊富なボランティア（2020年度よりサポーターと名称変更、以降サポーターという）を毎日2名配置し、来館者に和紙や洋紙についての正しい知識を深めていただき、紙に対して親しみを持っていただくよう努めています。通常は年2回のサポーター会議を開催し、説明内容の統一を諮ったり、来館者からの質問事例を紹介するなど相互に切磋琢磨しつつ、より一層わかりやすい解説と理解の向上を目指しています。

今年度も桜満開時期、新入社員教育時期など多くの入館者が予想される時期にはサポーターを増員し（3～4名）対応しました。

今年度の図書室利用は644名で、調査研究や論文作成などで利用されたり、絵本や子供向け書物にも多くのファミリーの利用がありました。平成16年度から参加しているレファレンス協同ベースには、現在まで82件のデータを登録しており、レファレンス事例の被参照数（アクセス数）は41,062件でした。全国規模の図書館総合目録NACISにも、当館受け入れ雑誌のすべてと図書データ約2,000点を登

録しており、I L L（図書館相互に図書や論文を利用しあうためのシステム）を通じて、全国の図書館からの複写申し込みにも対応しています。今年度は21件の複写依頼を受けました。

3. 国際博物館会議（I C O M 京都大会2019）、日本博物館協会（日博協）、都博物館協議会（都博協）、民間博物館協議会（C O M I C）に出席

今年度は3年に1度開催されるI C O Mが初めて日本で開催され（9/1～7）9/3, 4に参加、5/24：日博協の監事として会計監査、5/31, 2020/3/16：日博協理事会、6/18：日博協評議会、7/31, 2020/1/29：都博協理事会、7/3：全国博物館館長会議、9/5：全国博物館大会にそれぞれ出席しました。

また新たに北区役所が中心となり、渋沢栄一のドラマ「青天を衝け」の活用推進協議会が発足し、当館にも協議委員の任命を受け、第1回の協議会が2020/2/21に開催されました。また、C O M I Cにも平成20年度発足当時から参加し、それぞれの民間博物館の活動状況や情報交換を行っています。

## II. 紙に関する講演会、講習会、実演会の開催

### 1. 各講演会

テーマ	会合名	講師	場所	開催日
「白石紙布の復興と 奥州白石郷土工芸研究所」	企画展トーク ショー	佐藤和子氏 池田明美氏	紙博講堂	5/18
「セルロースナノファイバーの現状」	紙博友の会	岩崎 誠氏	紙博講堂	6/22

### 2. 講習会、実演会およびイベント

講習会、実演会名	講師	開催日
(1) 浮世絵手摺り実演会	沼辺伸吉氏	4/29
(2) 新聞紙でカブトを作ろう	当館学芸員	5/3
(3) 歴史発見！街めぐり	当館学芸員	5/25
(4) 親子で牛乳パック工作	当館学芸員	7/25
(5) 自由研究「紙を知ろう」	当館学芸員	8/1

昨年に引き続き七夕にちなんで竹紙を使った「たんざくに願いを書こう」でエントランスの壁に笹を想定した網をかけ、来館者に書いて頂いたたんざくをひっかけていくイベント（6/29～7/7）や、図書室を開放して夏休み自由研究フェアも夏休み期間中（7/

20～8／31)とし、ご利用を促進しました。

### 3. 「紙すき教室」の開催

今年度も紙すき教室は好評で毎週土、日に開催している定例紙すき教室は45日、3,019名が体験しました。一昨年度から開催した土、日以外の祝日や記念日ごとに(母の日、父の日、海の日、山の日)透かし模様を工夫しバリエーションをつけています。また昨年度から始めたしおりバージョンも好評をいただいております。

出張紙すきは8／2～3の製紙連合会主催のPAPER EXPO 2019では延べ466名、神田ブックフェスティバルでは集英社ブースで10／26, 27で延べ497名の参加をいただきました。

○定例紙すき 45日 3,019名

○臨時紙すき 24日 525名

○出張紙すき 4日 963名

すべての紙すき教室では体験前に10～15分程度「紙のリサイクルと森のリサイクル」「紙のできる原理」「和紙と洋紙の違い」など、子供たちにわかりやすく説明し理解してもらうよう努めています。

### 4. 学校及び諸団体の教育活動に対する協力、援助

10年前から小中学校の先生の方からのご予約及び引率を条件に、生徒10人以上の団体入館につきましては無料にしています。一方社会人向けの教育としてはそれぞれの会社の新入社員教育を実施しており、今年度は39社、484名が受講しました。紙に関する講義、ビデオ上映、展示室解説など2時間余の予定で行っております。

尚、今年度よりDVD「カミノカタチ」を新たに制作し、使用を開始しています。

### 5. かみはく友の会の活動

今年度は下期が休館中であり上期の1回のみでの講演でした。6／22(土)においてMIPコンサルタント事務所代表岩崎誠氏による、紙の未来の切り札ともいえる「セルロースナノファイバーの現状」と題して講演をいただきました。

## Ⅲ. 機関紙及び紙に関する書籍類の出版、広告活動

(ア) “百万塔” 発行第163号(6月)、第164号(10月)、第165号(2月)

尚、165号については3月より開催予定であった企画展「金唐革紙展」の特別記念号としてカラーページをふんだんに取り入れ、企画展の図録代わりとしてもご利用いただけるような仕様としました。

(イ) 外部広告活動

\*館全体紹介

大学歩きガイドブック2020、としょかん通信付録「ぶらす・あるふあ」  
日経サイエンス別冊付録「親と子の科学の冒険」、ゲンロク（車情報誌）  
TV朝日「グッド!モーニング」「紙の記念日」、「本当に住みやすい街Walker」

\*企画展紹介

FUTER第13号、4/4紙の新聞、4/9朝日新聞夕刊、4/17板紙ダンボール新聞、毎日新聞 博物館ガイド、4/19東京新聞イベントボックス  
「GO TOKYO」英語案内、高島平きものしんぶん

IV. 売店事業

今年度売上金額 2,993千円（対前年▲1,789千円）

総計では4月～8月までの売り上げで、フル期間の前年より大きくマイナスしたが、同期間では+744千円となっています。

V. 主要修繕、投資工事

主なものは下記の通り

1. 展示関係（サイン、展示ケース、パネル類）	32,264千円
2. 照明（LED化）	20,897
3. 塗装、内装工事	7,968
4. 排煙オペレーター調査、交換	3,849
5. ショップ什器	1,798